

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成29年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	244	248	101.6%	
	延べ利用者数 (人)	4,000	3,121	78.0%	
	自主事業	実施回数 (回)	11	428	3890.9%
		利用者数 (人)	152	3,359	2209.9%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	15,127,799	15,127,799	100.0%
		利用料金収入 (円)	3,400,000	2,752,420	81.0%
		自主事業収入 (円)	3,888,000	2,248,250	57.8%
	収入計 (円)		22,415,799	20,128,469	89.8%
	支出	人件費 (円)	10,274,000	10,083,592	98.1%
		維持管理経費 (円)	7,034,000	6,639,185	94.4%
		自主事業関係経費 (円)	2,861,093	1,621,291	56.7%
		その他の支出 (円)	0	0	0.0%
	支出計 (円)		20,169,093	18,344,068	91.0%
	収支 (収入－支出) (円)		2,246,706	1,784,401	79.4%

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数は土曜日の自主事業が減少傾向にあり、通所事業の開館日数は計画通りである為、上半期とほぼ変わらずに実施できました。利用者数に関しては各曜日最低15人の稼働を目指した結果、昨年よりも利用者が増加しました。	【事業の実施状況について】 通所事業は利用者の意思に任せての活動となり、生きがいを与えられる場所、雰囲気作りをしています。自主事業に関しては、利用者、講師双方の希望を聞きながらより良い形を目指しています。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好で、昨年と同等です。自主事業については、情報収集しながら人気のない講座の入れ替えをした結果、収支状況が改善しました。
--	--	---

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数は前年度より減少していますが、利用者数は前年度より増加しており、評価できます。引き続き、啓発・広報活動に努めてください。	【事業の実施状況について】 通所事業は、利用者に生きがいを与える場所、雰囲気作りをしており、評価できます。自主事業についても、利用者、講師双方の希望を聞きながら実施しており、評価できます。引き続き、より良い形で活動ができるよう努めてください。	【収支状況について】 通所事業の収支は、昨年と同等であり良好です。自主事業についても、講座の改善を図り、収支状況が改善されています。今後は、収支のバランスに努めてください。
--	---	--

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人 人員配置計画、実地、出勤簿	5人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年 研修マニュアル	実施回数12回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）

通所事業については、利用者の思いのままに過ごして頂く事を主に活動を提供した結果、利用者からは居心地が良いと好評でした。自主事業については、講座終了後に習った事を実践する為、通所事業を利用し、通所の利用者にボランティア感覚で披露するなど、時には通所事業、自主事業を一体化し、センター全体で事業を盛り上げています。これからも収支のバランスの適正化に努め、センター全体を元気にしていくよう努力してきます。

市による所見（指摘事項など）

通所事業は、利用者が思いのままに過ごす活動を提供し、利用者から好評であったことは評価します。自主事業についても、講座参加者が、ボランティア感覚で通所事業利用者に対し、講座の内容を披露していただくことは新しい試みで大変評価できます。引き続き、通所事業と自主事業の連携を図り、センター全体で事業を盛り上げてください。また、収支状況も改善されていますので、収支のバランスを意識してください。